

財産の状況

バランスシート（貸借対照表）は、企業の財政状態を明らかにするため、保有するすべての資産、負債および資本を表示したもので、株主などに会社の経営内容を知ってもらうために作成する報告書です。

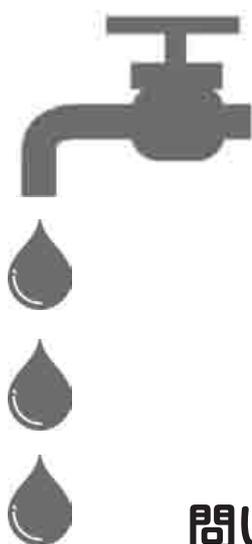
次の表は、平成22年度末現在の水道事業の財政状態を表したものです。

バ ラ ン ス シ ー ト	区分	金額	区分	金額
	固定資産	81億1,978万円	流動負債	7,968万円
	有形固定資産（建物、配水管、水道メーターなど）	81億1,978万円	未払金（未払いの債務）	2,340万円
	流動資産	5億5,393万円	前受金（概算払いの水道料金）	6万円
	預金現金（手持資金）	4億3,339万円	その他（下水道料金預り金など）	5,622万円
	未収金（未納水道料金）	1億1,532万円	資本金	65億6,360万円
	貯蔵品（たな卸資産）	519万円	自己資本金（建設改良積立金の取崩額など）	15億8,641万円
	その他流動資産	3万円	借入資本金（企業債）	49億7,719万円
			剰余金	20億3,043万円
			資本剰余金（工事負担金など）	16億 280万円
		利益剰余金（減債積立金など）	4億2,763万円	
資産合計	86億7,371万円	負債・資本合計	86億7,371万円	

水道施設整備の状況

平成22年度に実施した工事は、次のとおりです。

区分	工事内容	事業費
送配水管新設工事	幹線となる配水管などを敷設し、水道水の安定供給を図るための工事を行いました。	5,296万円
送配水管改良工事	赤水発生の解消や地震などの災害に強い水道施設の整備を図るため、老朽化した配水管の改良（更新）工事を行いました。	4,770万円
送配水管移設工事	公道の拡幅工事等に伴い、配水管の移設工事を行いました。	1,095万円
水道メーター取替工事	計量法で定められている水道メーターの取り替え（8年ごと）の工事を行いました。	2,477万円
その他設備工事	幌別浄水場電気室空調設備の設置工事を行いました。	169万円



借入金の状況

安定した水の供給を維持するためには、常に浄水場や配水管などの水道施設を整備し、これから施設更新時期を迎える水道施設を計画的に整備していく必要があります。この整備には、多大な資金が必要になり、手持ちの資金では賅うことができません。

そこで、国などから資金を借り入れし、水道料金の中から返済しています。水道事業では、この借入金を『企業債』と呼んでいます。

また、この借入金は、財政的負担の軽減や、将来利用する市民にも公平に負担してもらうという目的も含め、長期の計画で返済しています。

平成22年度末現在で借入元金の残高は、バランスシートで示したとおり49億7,719万円です。これを給水人口1人当たりに換算すると9万7,307円になります。

問い合わせ 水道グループ (☎⁸⁵ 5 5 0 1)